

第2回瑞浪市障害者計画等推進委員会会議録

1 開催日時：令和5年8月31日（木）

開会：午後1時30分 閉会：午後2時35分

2 開催場所：瑞浪市保健センター 3階 大会議室

3 出席委員：隅田敏博、辻田美奈子、田中美穂、澤野公子、小川真知子、
小倉喜久美、加藤健史、山田隆司、猿渡康裕、加藤智大、
木村泰宏、加藤誠二、野々垣直美、大竹陽平（計14名）

〔名簿順・敬称略〕

4 欠席委員：江口 研

5 傍聴者数：2名

6 出席した事務局：瑞浪市民生部

民生部長 正木英二、次長・子育て支援課長 藤木敏子、社会福祉課長 和田光浩、社会福祉課長補佐兼障がい福祉係長 西田寿恵、子育て支援長補佐兼子育て支援係長 有賀大輔、

7 議事

(1) 障がい福祉に係るヒアリング調査の報告

(2) 第5次瑞浪市障害者計画 第7期瑞浪市障害福祉計画・第3期瑞浪市障害児福祉計画（計画骨子案）について

(3) その他

8 会議要旨

1 開 会	開会のあいさつ
2 会議の成立	委員数15名に対し、本日の出席者数は、現在14名。 過半数の出席があり本委員会の成立を報告。 【木村会長：議長として議事進行】
3 会議の傍聴 について	傍聴者：本日2名。傍聴席にご案内することへの確認。 了承。 配布資料の確認
4 議 事	(1) 障がい福祉に係るヒアリング調査の報告 ** 説明 **

委 員	<p>A団体に所属していますので、アンケートに意見を記入いたしました。</p>
委 員	<p>アンケートを記入させていただきましたが、瑞浪市は計画相談支援の事業所がないということで、サービスを受けるところが限定されてしまうと思います。利用者が選択できるのが理想だと思います。</p>
委 員	<p>日中一時支援事業で、単価が900円というのは事業所を運営している側からするとやっていくのが難しいと話をさせていただきました。</p>
委 員	<p>子どもが中学2年生で職場体験をしましたが、今後、就職のことで悩みそうです。いろいろなサービスが充実するのいいと思いました。</p>
委 員	<p>子どもは療育手帳A1と身体障害者手帳3級を所持し、自傷や他害といった強度行動障害もありなかなか手間がかかることもあります。卒業して3年経ちますが一番心配なことは、自分に何かあった時が不安です。現在、生活介護で瀬戸市に通っています。施設を選んだ大きな理由は、重度の障害者が利用できるグループホームをやっていることです。ここは、利用者30人に対して夜勤2人、遅番3人、早番2人という手厚い施設ですが、行政から大きな援助をしてもらったわけでもなく、職員の熱意と保護者の協力で運営しているという状況です。</p> <p>施設がほしいということもありますが、職員が不足して対応できないということが利用できない理由にもなっています。職員だけ、保護者だけとかではなく、全体で重度であっても地域で安心して暮らせるところが「瑞浪市」だいいと思います。</p>
委 員	<p>10年先を考えた時、今の重度の子どもたちが暮らせるところができているというのは難しいと感じています。やはり職員が集まらない理由に報酬や国で決まっているサービス価格が上</p>

委員	<p>がらないこと、強度行動障害のための手当など手厚くなることで働きやすくなることも必要と感じています。</p> <p>教育や福祉が若い子どもたちに就職してもらえるような魅力ある職業になるように東濃で考えていけるといいと思っています。</p> <p>市内にグループホームが2つあり、1つは市の土地を借りて建物を建てました。市としてやってもらえることがあると思います。市に土地を借りて、事業をやるという方法もあるという話です。</p>
議 長	<p>(2) 瑞浪市第5次障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の骨子案について</p> <p style="text-align: center;">** 説明 **</p>
事務局	
委員	<p>就労選択支援事業について、情報が伝わってきていない状況で、この事業によっていろいろ変わってくるのが予想されるので、国からの情報がもう少し欲しいと思います。</p>
委員	<p>親なき後、福祉サービスの利用に関して日常生活支援事業も盛り込んだほうが良いと思います。日常生活支援事業は本人の契約も軽度の障害の場合は支援できるので入れておくと思います。特に全国的にみても岐阜県は日常生活支援事業の利用率が非常に低いです。</p>
委員	<p>施策の体系から障がい者に限ったことではなく、高齢者等も含め地域で生活しているということから福祉全般に渡る計画であることがいいのではと感じました。</p>
委員	<p>広報等で市民の皆様にご存知いただくことで、何かできることがあるような気がします。</p>
委員	<p>自分の自己実現のために何かやりたいという主張があると思</p>

委員	<p>うので実現できるように相談支援体制の充実、人材育成等ぜひ力を入れてやってもらえるといいと思います。</p> <p>いろいろな分野の方が、実現に向けて動いていらっしゃるということが結果として昔より充実した状況になっているのだと改めて感じています。これからもより良い福祉に向けて意見が言えるようになればいいと思いました。</p>
委員	<p>今回、アンケート調査を取りまとめたことでみなさんの声が間違いなくありますが、これをこの後、具体的にどう進めるのかということが大切であると思います。</p> <p>日常の中でもですが、相談をされて、進めていく上で困ることは異動等で担当が変わったりして進まなくなる事実があります。計画の取組みもですが、進んでいくようにするにはどうしたらいいのかを考えないといけないと思います。</p>
委員	<p>東濃地区は、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けて、全国的なモデル地区として病院、サービス事業所、市と連携してここ数年協議の場を持って対策を進めています。課題で挙げられている専門的人材の育成という点で、初任者研修、スキルアップ研修を開催する予定です。</p> <p>それから、医療的ケアの必要な子どもの支援体制の充実ということでは、成長とともに悩みも変化していくものだと思います。やはり横断的な関係機関とネットワークを形成していく必要があると捉えており、今後、医療支援体制とかも検討していくという動きになっています。</p> <p>それから、例えば、災害時、指定難病や人工呼吸器を使用している人等を訪問して災害時どういう対応が必要か、充電・バッテリーがどれくらい持つのか、どこに相談したらいいのか等事前に確認をする必要があると思うので命に係わることなので重点的にお願いしたいです。</p>
議長	議事(3)その他

事務局	追加事項なし
議長	<p>議事は以上です。</p> <p>障害者計画の実行面で大きく変わったことは市が評価をし、取組みがどこまでできているかを評価することで具体的にどこまで進んでいるかが明確になり昔とは違うと感じています。</p> <p>昔のような市が措置をするという権限が大きい時代から民間が参入してきたことで、権限も小さくなり、民間も利益を出さないと経営が成り立たないというところで、本当に新しい時代に入ってきているように感じています。</p> <p>それに、時代的に働かないといけないので、ボランティアを担う人材が少なくなっている気がします。でも、テレビを観るとボランティアが盛んなので、ボランティア教育も今後必要になっているように思います。</p> <p>魅力を若い世代に伝えていくということも大切だと感じています。</p> <p>以上で事務局のお返しします。</p>
事務局	<p>大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>事務連絡ですが、第3回目の委員会を10月26日に予定しております。よろしくお願いたします。</p>
閉会	民生部長あいさつ